

元 審査官の講師が、拒絶理由通知を正しく読みとって的確に対処できるように、審査官特有の思考回路やサーチ手法を紹介し、進歩性・新規性等の判断基準と補正ポイントを事例や経験談を交えて解説します。

審査官の思考・進め方と拒絶理由通知対応テクニック

講師：福島総合特許事務所 所長 弁理士 福島 芳隆 氏

大塚化学（株）にて有機合成、新規農薬の研究開発に従事。退職後、特許庁・審査官として化学分野の審査に従事。その後、大手特許事務所の主任弁理士を経て 2016 年 1 月に福島総合特許事務所を設立。2016 年～2019 年 神戸大学 知的財産マネージャー（非常勤）、産官学連携本部 客員教授を歴任。2020 年より岐阜大学 工学部 非常勤講師 就任。「産、官、学」の全てを経験した弁理士という強みを生かし、技術者・研究者に対して、発明の初期段階から権利化商品化に至るまで、強い特許の取得方法、特許調査、研究開発支援等、幅広い総合的な知財経営支援を行っている。

●日程 2025 年 6 月 12 日（木） 13:30 ～ 16:30

●受講料 24,200 円（税込） ※4/12（土）までにお申込の場合、**19,360 円（2 割引）**となります

1. 審査官の思考（審査の進め方）を理解する

- (1) 本願発明を正しく理解
- (2) サーチ対象の決定
- (3) サーチ（先行技術調査）
- (4) 拒絶理由通知書を起草

2. 条文別に見る、拒絶理由への上手な対処法とは

～補正のポイントを考える～

- (1) 29 条 柱書（産業上の利用可能性）
- (2) 29 条 1 項 3 号（新規性）
- (3) 29 条 2 項（進歩性）
- (4) 36 条 4 項 1 号（実施可能要件）
- (5) 36 条 6 項 1 号（サポート要件）
- (6) 36 条 6 項 2 号（明確性要件）
- (7) 17 条の 2 第 3 項（新規事項の追加）
- (8) 37 条（単一性）

3. 拒絶理由通知書を受け取ったら、何を注意すべきか

- (1) その拒絶理由は「最初」なのか、「最後」なのか
- (2) 審査官の認定は正しいか
- (3) 補正は本当に必要か
- (4) 分割出願を行うか否か
- (5) 先を見据えた応答はできていますか

4. 元審査官だから知っている、有効な対処法とは

- (1) 審査官への面接（電話・FAX 含む）は有効か
- (2) 良い実施例、悪い実施例とは
- (3) 良い比較例、悪い比較例とは
- (4) 審査官の立場からみた拒絶理由通知とは
- (5) 悪い手続補正書・意見書とは
- (6) 良い手続補正書・意見書とは
- (7) 意見書でどのような反論を記載すると有効か
- (8) その他お得意情報

<習得できる知識>

- 審査官の論理構築
- 特許性の判断基準
- 拒絶理由通知を受け取った後の ToDo とその留意点
- 意見書、補正書を作成するポイント

<講義概要>

審査官から送られてきた拒絶理由通知書に対して、しっかりと補正したつもりが、拒絶査定となってしまった、という経験はありませんか？ 拒絶理由通知書を正しく理解するには、審査官の思考回路を理解する必要があります。一方、しっかりと補正して特許査定になったから大丈夫とも限りません。審査官からみたら、とても狭い権利範囲の場合もあります。

本講習会では、元特許庁審査官としての審査経験と、企業での研究経験および出願経験と、そして大学及び大手国際特許事務所での特許出願経験をもつ講師が、審査官の思考（考え方）を詳しく説明し、条文別に事例を交えて、拒絶理由通知に対する上手な対処法をご提案します。

<お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）


FAX
03-6261-7924

申込講座	2025/6/12 審査官の思考・進め方と拒絶理由通知対応テクニック		
会社名※			
所在地※ <small>（請求書等の送付先）</small>	〒		
参加者①	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
	Email※		役職
	会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>	
参加者②	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
	Email※		役職
	会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>	
支払方法※	<input type="checkbox"/> 銀行振込（紙請求書） <input type="checkbox"/> 銀行振込（PDF請求書） <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
支払予定日※	<input type="checkbox"/> [] 月 [] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
備考※			

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先： entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店（909）
口座番号	（普） 0 9 7 3 5 2 2
名義	株式会社テックデザイン

主催 申込・問合せ先	名称	株式会社テックデザイン（ http://www.tech-d.jp/ ）		
	住所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	電話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		